



第Ⅳ部 中国の地方経済

1. 省レベルの主要経済指標
2. 省レベルの経済アトラス
3. 31 省市自治区の GDP と成長率（1978 ～ 2019 年）
4. 都市レベルの経済指標
5. 地域経済ブロックの主要経済指標（2019 年）

<http://www.21ccs.jp/>

1. 省レベルの主要経済指標（2019年）

地区	面積 (万km ²)	年末 総人口 (万人)	人口 密度 (人/km ²)	都市化率 (%)	GDP (億元)	対前年 成長率 (%)	一人当り GDP (元)
北京	1.7	2,154	1,267	86.60	35,371.3	6.1	164,220
天津	1.2	1,562	1,302	83.48	14,104.3	4.8	90,371
河北	19.0	7,592	400	57.62	35,104.5	6.8	46,348
上海	0.6	2,428	3,854	88.30	38,155.3	6.0	157,279
江蘇	10.0	8,070	807	70.61	99,631.5	6.1	123,607
浙江	10.0	5,850	585	70.00	62,351.7	6.8	107,624
福建	12.0	3,973	331	66.50	42,395.0	7.6	107,139
山東	16.0	10,070	629	61.51	71,067.5	5.5	70,653
広東	18.0	11,521	640	71.40	107,671.1	6.2	97,172
海南	3.4	945	279	59.23	5,308.9	5.8	56,507
東部地区	91.9	54,165.2	589		511,161.1		
山西	16.0	3,729	233	59.55	17,026.7	6.2	45,724
安徽	14.0	6,366	456	55.81	37,114.0	7.5	58,164
江西	17.0	4,666	274	57.42	24,757.5	8.0	58,496
河南	17.0	9,640	567	53.21	54,259.2	7.0	56,388
湖北	19.0	5,927	312	61.00	45,828.3	7.5	77,387
湖南	21.0	6,918	329	57.22	39,752.1	7.6	57,540
中部地区	104.0	37,246.0	358		218,737.8		
遼寧	15.0	4,352	290	68.11	24,909.5	5.5	57,191
吉林	19.0	2,691	142	58.27	11,726.8	3.0	43,475
黒龍江	46.0	3,751	82	60.90	13,612.7	4.2	36,183
東北地区	80.0	10,794.0	135		50,249.0		
内モンゴ	118.0	2,540	22	63.37	17,212.5	5.2	67,852
広西	24.0	4,960	207	51.09	21,237.1	6.0	42,954
重慶	8.2	3,124	379	66.80	23,605.8	6.3	75,828
四川	49.0	8,375	171	53.79	46,615.8	7.5	55,774
貴州	18.0	3,623	201	49.02	16,769.3	8.3	46,433
雲南	39.0	4,858	125	48.91	23,223.8	8.1	47,944
チベット	123.0	351	3	31.54	1,697.8	8.1	48,902
陝西	21.0	3,876	185	59.41	25,793.2	6.0	66,649
甘肅	43.0	2,647	62	48.48	8,718.3	6.2	32,995
青海	72.0	608	8	55.52	2,966.0	6.3	48,981
寧夏	6.6	695	105	59.86	3,748.5	6.5	54,217
新疆	166.0	2,523	15	51.87	13,597.1	6.3	54,280
西部地区	687.8	38,180.0	56		205,185.2		
全国	960.0	140,005	146	60.60	990,865.1	6.1	70,892
地方合計	963.7	140,385	146		985,333.1		

注：①断りのない場合は2018年の数値。②金額は当年価格。③増加率は実質。④各省の地方合計と全国数値に食い違いがある。

(▲はマイナス)

一人当たり GDP (米ドル)	一次産業 GDP (億元)	増加率 (%)	二次産業 GDP (億元)	増加率 (%)	三次産業 GDP (億元)	増加率 (%)	地 区
23,805	113.7	▲2.5	5,715.1	4.5	29,542.5	6.4	北 京
13,100	185.2	0.2	4,969.2	3.2	8,949.9	5.9	天 津
6,719	3,518.4	1.6	13,597.3	4.9	17,988.8	9.4	河 北
22,799	103.9	▲5.0	10,299.2	0.5	27,752.3	8.2	上 海
17,918	4,296.3	1.3	44,270.5	5.9	51,064.7	6.6	江 蘇
15,601	2,097.4	2.0	26,566.6	5.9	33,687.8	7.8	浙 江
15,531	2,596.2	3.5	20,581.7	8.3	19,217.0	7.3	福 建
10,242	5,116.4	1.1	28,310.9	2.6	37,640.2	8.7	山 東
14,086	4,351.3	4.1	43,546.4	4.7	59,773.4	7.5	広 東
8,191	1,080.4	5.8	1,099.0	4.1	3,129.5	7.5	海 南
	23,459.2		198,955.9		288,746.1		東部地区
6,628	824.7	2.1	7,453.1	5.7	8,748.9	7.0	山 西
8,431	2,915.7	3.2	15,337.9	8.0	18,860.4	7.5	安 徽
8,480	2,057.6	3.0	10,939.8	8.0	11,760.1	9.0	江 西
8,174	4,635.4	2.3	23,605.8	7.5	26,018.0	7.4	河 南
11,218	3,809.1	3.2	19,098.6	8.0	22,920.6	7.8	湖 北
8,341	3,647.0	3.2	14,947.0	7.8	21,158.2	8.1	湖 南
	17,889.5		91,382.2		109,466.2		中部地区
8,290	2,177.8	3.5	9,531.2	5.7	13,200.4	5.6	遼 寧
6,302	1,287.3	2.5	4,134.8	2.6	6,304.7	3.3	吉 林
5,245	3,182.5	2.4	3,615.2	2.7	6,815.0	5.9	黒龍江
	6,647.6		17,281.2		26,320.1		東北地区
9,836	1,863.2	2.4	6,818.9	5.7	8,530.5	5.4	内 蒙 古
6,227	3,387.7	5.6	7,077.4	5.7	10,772.0	6.2	広 西
10,992	1,551.4	3.6	9,496.8	6.4	12,557.5	6.4	重 慶
8,085	4,807.2	2.8	17,365.3	7.5	24,443.3	8.5	四 川
6,731	2,280.6	5.7	6,058.5	9.8	8,430.3	7.8	貴 州
6,950	3,037.6	5.5	7,961.6	8.6	12,224.6	8.3	雲 南
7,089	138.2	4.6	635.6	7.0	924.0	9.2	チベット
9,661	1,990.9	4.4	11,980.8	7.7	11,821.5	5.7	陝 西
4,783	1,050.5	5.8	2,862.4	4.7	4,805.4	7.2	甘 肅
7,100	301.9	4.6	1,159.8	6.3	1,504.3	6.5	青 海
7,859	279.9	3.2	1,584.7	6.7	1,883.8	6.8	寧 夏
7,868	1,781.8	6.3	4,795.5	5.9	7,019.9	6.5	新 疆
	22,470.9		77,797.3		104,917.1		西部地区
10,276	7,066.7	3.1	386,165.3	5.7	534,233.1	6.9	全 国
	70,467.2		385,416.6		529,449.5		地方合計

(資料)『中国統計年鑑』2019年版、『中国統計摘要』2020年版、「2019年国民経済和社会發展統計公報」、2019年各省市自治区統計公報

地区	固定資産 投資 増加率 (名目) (%)	食糧 生産量 (万トﾝ)	発電量 (億 kWh)	粗鋼 生産量 (万トﾝ)	自動車 生産量 (万台)	携帯電話 生産量 (万台)	パソコン 生産量 (万台)
北京	▲2.5	28.8	464.1		164.0	8,373.3	513.2
天津	13.1	223.3	733.0	2,194.8	104.1	11.5	
河北	6.5	3,739.2	3,297.7	24,157.7	105.0		
上海	5.1	95.9	822.1	1,640.3	274.9	4,173.2	1,121.7
江蘇	5.1	3,706.2	5,166.4	12,017.1	82.8	5,003.8	6,032.3
浙江	10.0	592.1	3,537.6	1,350.7	99.1	4,652.6	277.7
福建	5.9	493.9	2,578.0	2,390.3	16.9	1,802.9	2,192.4
山東	▲8.2	5,357.0	5,897.2	6,357.0	77.7	1,177.2	0.9
広東	11.1	1,240.8	5,051.0	3,229.1	311.7	70,502.8	5,784.7
海南	▲9.2	145.0	345.7				
東部地区		15,622.2	27,892.8	53,337.0	1,236.2	95,697.3	15,922.9
山西	9.3	1,361.8	3,361.7	6,039.1	6.5	1,862.2	
安徽	9.2	4,054.0	2,886.7	3,222.5	77.6	81.7	2,253.8
江西	9.2	2,157.5	1,375.9	2,524.5	49.1	4,897.6	
河南	8.0	6,695.4	2,888.3	3,299.1	60.9	21,744.1	
湖北	10.7	2,725.0	2,987.5	3,611.5	224.0	3,920.0	1,270.2
湖南	10.1	2,974.8	1,559.4	2,385.7	56.1	1,262.9	128.8
中部地区		19,968.5	15,059.5	21,082.4	474.2	33,768.5	3,652.8
遼寧	0.3	2,430.0	2,072.9	7,361.9	79.2	46.1	3.0
吉林	▲16.2	3,877.9	946.4	1,356.6	288.9		
黒龍江	6.3	7,503.0	1,111.9	896.1	18.9	259.2	
東北地区		13,810.9	4,131.2	9,614.6	387.0	305.3	3.0
内モンゴ	6.7	3,652.5	5,495.1	2,653.7			
広西	9.6	1,332.0	1,846.3	2,662.7	183.0	594.7	245.1
重慶	5.6	1,075.2	811.6	920.9	138.3	17,431.9	7,614.3
四川	8.6	3,498.5	3,923.9	2,733.3	61.9	14,811.4	6,584.2
貴州	0.9	1,051.2	2,206.5	442.3	4.6	3,289.1	0.1
雲南	8.5	1,870.0	3,465.6	2,154.7	10.0	2,792.2	140.6
チベット	▲2.2	103.9	85.5				
陝西	2.5	1,231.1	2,193.2	1,430.7	54.7	1,409.9	
甘肅	6.6	1,162.6	1,630.5	877.8	0.1		
青海	5.0	105.5	886.1	178.8			
寧夏	▲10.3	373.2	1,766.0	308.6			
新疆	2.5	1,527.1	3,670.5	1,236.9	2.5		
西部地区		16,982.8	27,980.8	15,600.4	455.1	40,329.2	14,584.3
全国	5.4	66,384.3	75,034.3	99,634.2	2,552.8	170,100.6	34,163.2
地方合計		66,384.4	75,064.3	99,634.4	2,552.5	170,100.3	34,163.0

2. 省レベルの経済アトラス

2 - A. 都市化の時代の人口流動

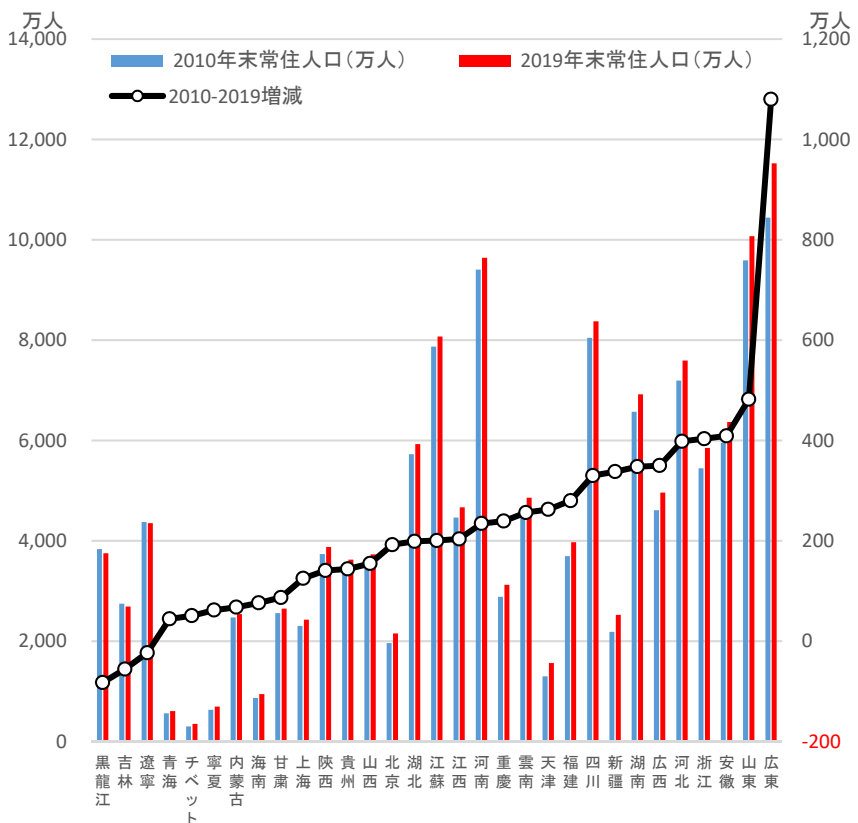
2010年から2019年まで9年間で、各地の人口分布が大きく変わった。

図①は2000～2019年の省レベル常住人口の変化を見たものである。右端の広東は増大が激しく、左端の東北3省は減少に陥っている。

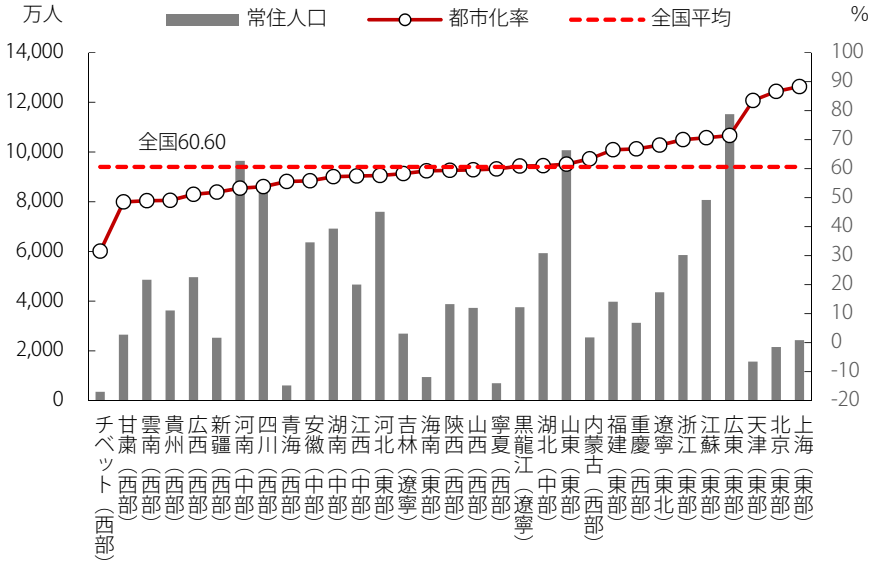
人口移動のメインストリームは農村から都市への移動である。図②は、右から左へ、都市化率の大→小の順でグラフ化したものである。東部沿海省の多くは都市化率60%を超え、左端の西部後進地域でも都市化は50%に及んでいる。

図③は2010年から2019年までの9年間の都市化の動きを見たものだが、西部、中部の内陸部で都市化の動きが顕著で、都市化変動の波はいまや中西部諸省に押し寄せている。中国社会は、農村から都市へ、都市へ、人口大移動の渦中にある。

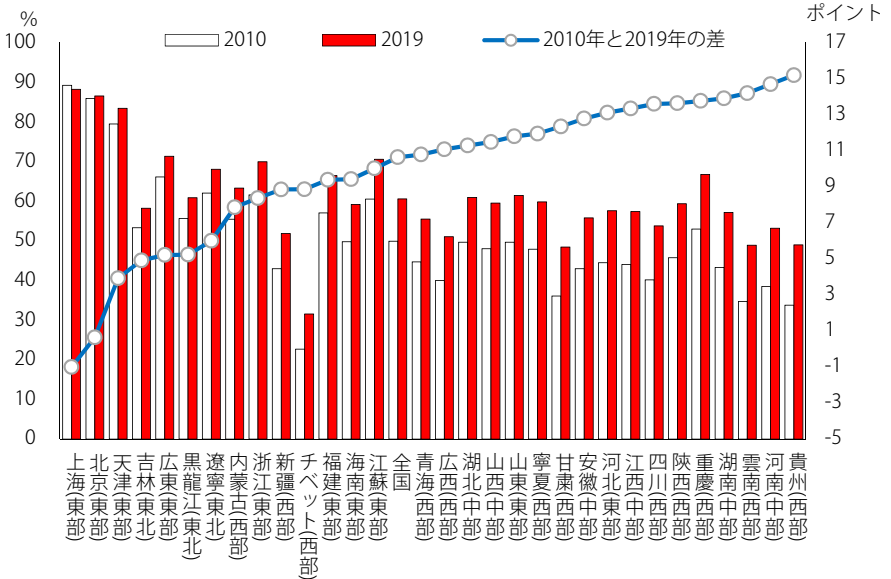
①省レベル常住人口の増減（2010～2019年）



②省レベル常住人口のと都市化率（2019年）



③2010年と2019年の省別都市化率の進展度



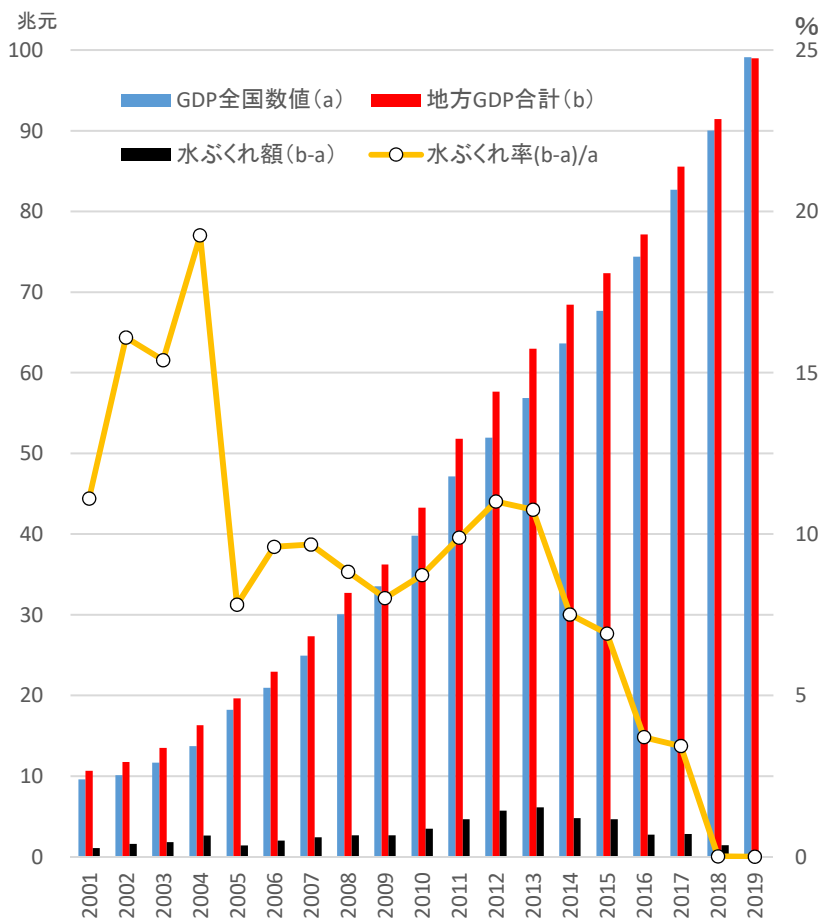
(資料)『中国統計摘要』2019年版

2 - B. 改革途上の地方 GDP 統計

地方 GDP データの虚偽報告が白日の下に晒され、2009 年から国家統計局の監督の下で国家と地方の統計局が協力して集計すべし、という改革が断行された。

図①は、31 省市自治区の GDP 合計額と全国中央の GDP 値とを較べたものである。二つの棒グラフにおいて、これまで地方合計額が全国数値を上回ってきた。折れ線グラフが水ぶくれ率〔(地方 GDP 合計 - 全国 GDP) ÷ 地方 GDP 合計 (%)〕である。これが 2012 年以來急激に低下し、2019 年には、ついに水ぶくれが解消された。

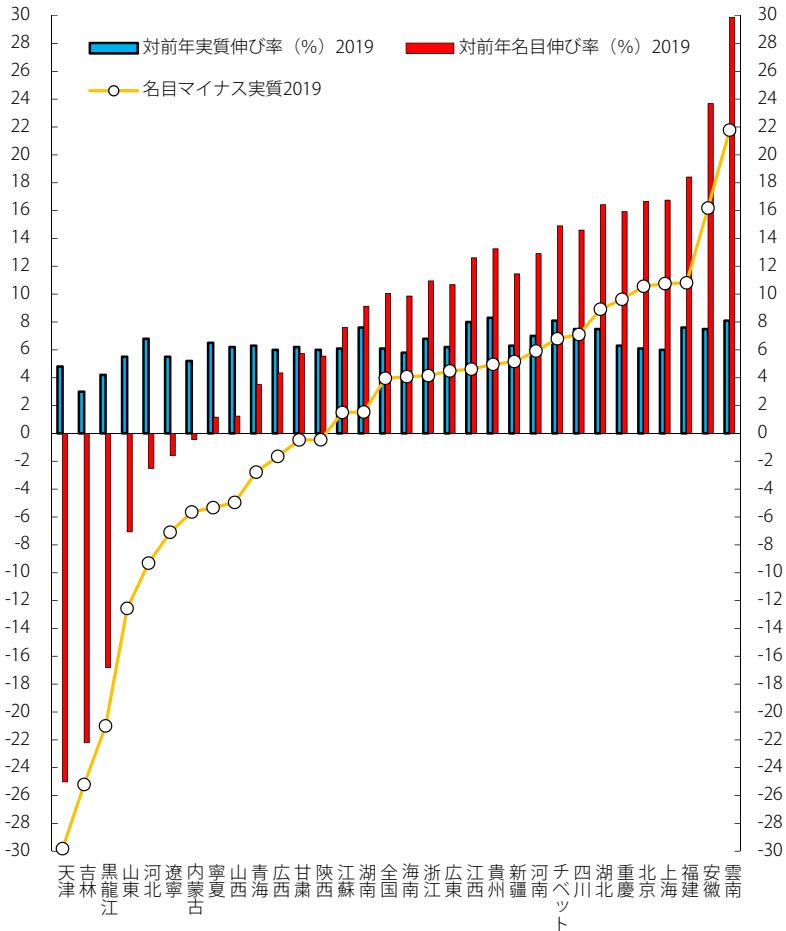
① GDP 全国値と地方 GDP 合計値とのギャップ (2001 - 2019 年)



(資料) 『中国情報ハンドブック』各年版及び各省市自治区の 2019 年統計公報

しかし、「役人が数字をつくり、数字が役人をつくる」という旧弊は根が深い。図②は、2018年の31省市自治区の名目GDP成長率と実質GDP成長率とを棒グラフで描き、名目GDP成長率と実質GDP成長率の差を折れ線グラフにしたものである。名目GDP成長率と実質GDP成長率のギャップは、物価変動を表す物価指数で、0以上であればインフレ、0以下であればデフレだ。左端の天津から陝西までがマイナスだ！ 即ちデフレ状態にある？ 何故か？ 国家統計局がツジツマ合わせのために地方統計局に強いて、諸矛盾をここに押し付けたわけだ。天津、吉林、黒龍江、山東、河北、遼寧、内モンゴなどはGDP競争のルール違反戦犯である。さて、GDP地方数値と全国数値は生産数値で帳尻が合ったが、支出、所得数値は依然として誤魔化しを含んでいるのだ。

② 2019年地方GDPの名目成長率と実質成長率とのギャップ



2-C. 省レベル一人当たり GDP の分布

省レベル GDP 算出権限が省レベル統計局から国家統計局に移って、省レベル GDP 数値が大きく改められた結果、省レベル一人当たり GDP も大変動した。

表①は 2018 年の省レベル一人当たり GDP レベルの分布、表②は 2019 年の省レベル一人当たり GDP レベルの分布である。大まかに両者を比べてみたのが、色を付けた省名である。赤字は 2019 年に順位を落とした省市自治区、青字が順位を上げた省市自治区である。天津、内モンゴ、吉林が陥落した。無論、2018 年以前の GDP 数値を水増ししていたせいである。天津はかつては全国トップを誇っていたものだが、いまや二線級都市だ。逆に地位が上昇したのは福建である。図③は 2019 年のランキングである。これによって、中国の省市自治区経済レベルをイメージし直さなければならない。

①省レベルの一人当たり GDP レベルの分布 (2018 年)

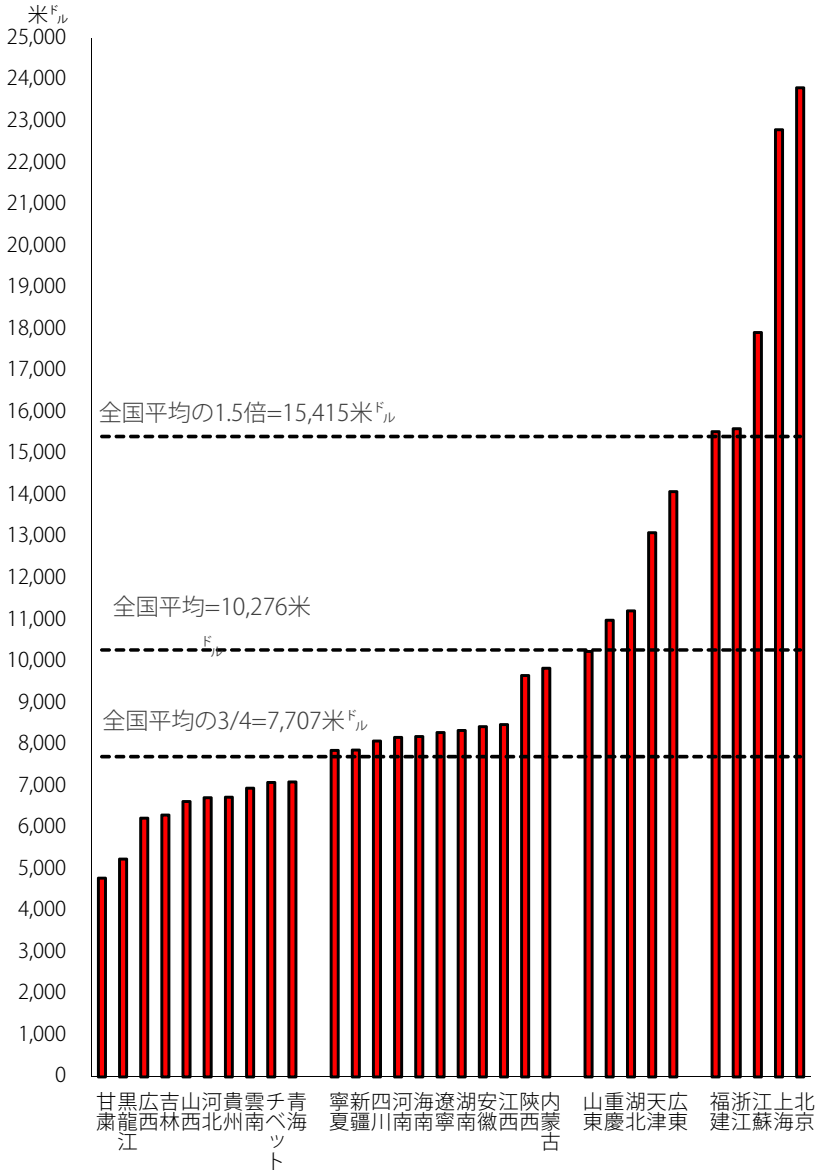
所得ランク		省市自治区	人口 (万人)	人口 (%)
高所得	全国平均 1.5 倍 = 14,625 米 ^{ドル} 以上	北京、上海、 天津 、江蘇、浙江	19,925	14.3
上位中所得	全国平均～全国平均 1.5 陪	福建 、広東、山東、 内モンゴ 、湖北、重慶	39,591	28.4
下位中所得	全国平均 = 9,750 米 ^{ドル} 以上	陝西、遼寧、 吉林 、寧夏、湖南、海南、河南、新疆、四川	40,763	29.2
低所得	全国平均未滿	河北、青海、 安徽 、 江西 、山西、黒龍江、チベット、広西、貴州、雲南、甘肅	39,331	28.2

②省レベルの一人当たり GDP レベルの分布 (2019 年)

所得ランク		省市自治区	人口 (万人)	人口 (%)
1. 高所得グループ	全国平均 1.5 倍 = 1 万 5414 米 ^{ドル} 以上	北京、上海、江蘇、浙江、 福建	22,475	16.0
2. 上位中所得グループ	全国平均～全国平均約 1.5 倍 (1 万米 ^{ドル} 以上)	広東、 天津 、湖北、重慶、山東	32,204	22.9
3. 下位中所得グループ	全国平均 1 万米 ^{ドル} 未滿	内モンゴ 、陝西、 江西 、 安徽 、湖南、遼寧、海南、河南、四川、新疆、寧夏	50,896	36.3
4. 低所得グループ	全国平均未滿	青海、チベット、雲南、貴州、河北、山西、 吉林 、広西、黒龍江、甘肅	34,810	24.8

(資料) 国家統計局データ、World Bank により 21 世紀中国総研作成

③省レベルの一人当たりGDP（米ドル表示）ランキング（2019年）



(資料) 各省市自治区の2019年統計公報

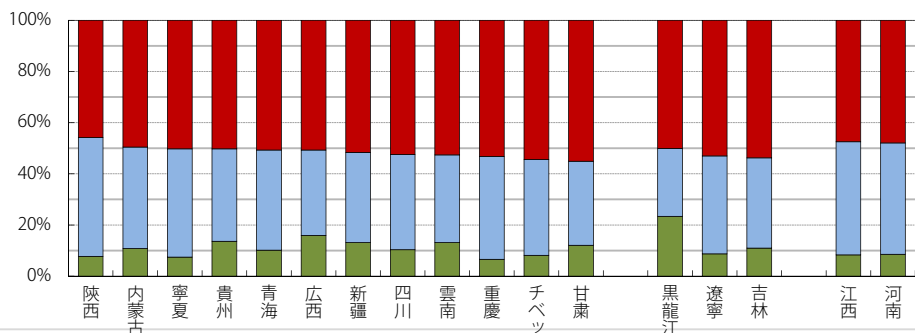
2-D. 成長の牽引車は製造業からサービス業へ

2019年は改革開放41周年であったが、この間に社会構造が激変した。図①に見るように、中国は就業構造においてもGDPにおいても農業社会から工業+サービス業社会に大転換を遂げた。さらに2010年代以降は工業化からサービス業化へ、脱工業化が進行中で、いまやサービス業のGDP成長寄与率は6割に近い。

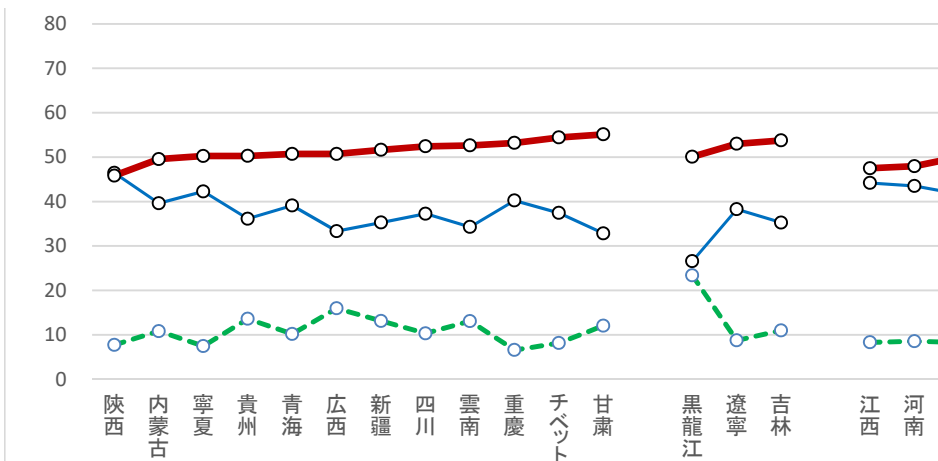
この構造転換を省レベルで見たのが図②と図③である。図②は2019年の省レベルGDPの三つの産業セクターの比重である。図③の方は、2000年と2019年との比重の差を表したものである。○付き折れ線グラフがサービス業だが、これが全ての省でプラス、多くの省で10ポイント以上変化している。逆に、農業セクターは全ての省でマイナス、工業セクターも大部分の省でマイナスになっている。

GDP成長率を上げたければ第3次産業の振興をはかれ、雇用を安定させなければサービス業を盛んにせよ。脱農業から脱工業の波は全国に波及している。

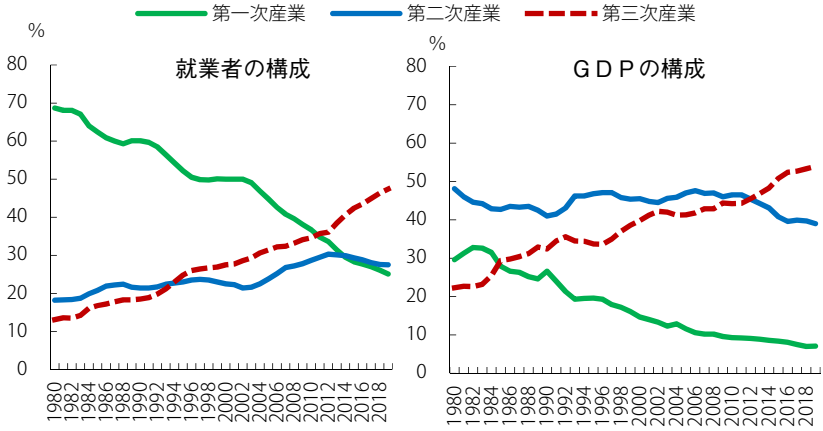
②省レベルの産業セクターの構成 (2019年)



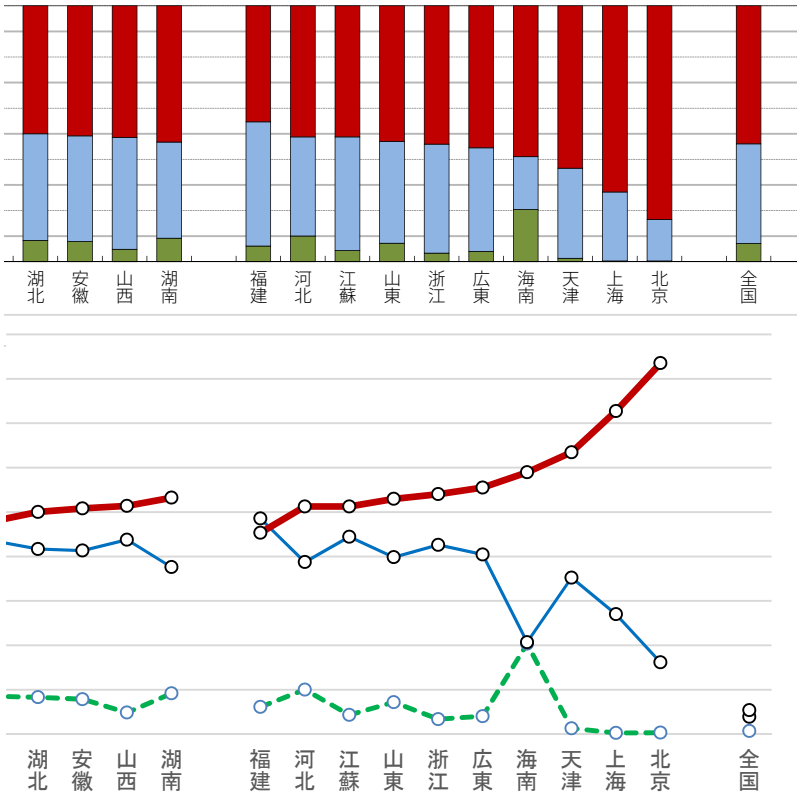
③省レベルの三産業セクターの比重変化 (2000年と2019年)



①中国の産業構造の推移（1980～2019年）



(資料)『中国統計摘要』2020年版



2-E. 都市住民の生活水準の向上

GDP 成長の余沢が都市と農村の住民に均霑されている。消費支出も旺盛で、農村で消費支出の上昇率が所得の上昇率を上回っている。農村においても、民は「全面的な小康生活」を享受していると見ていい。

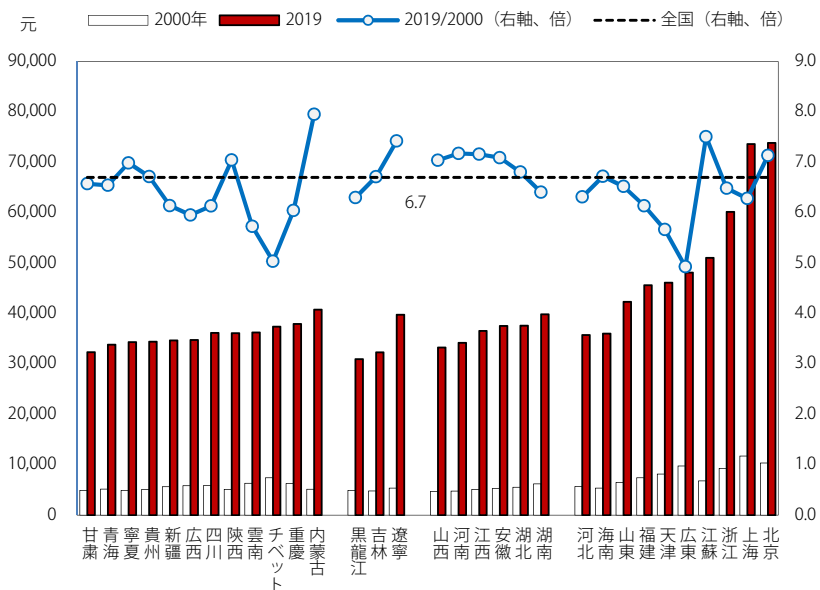
では、省レベルではどうか？ 地方の都市住民の懐具合を覗いてみよう。

総所得から税金や社会保障費等を差し引いて自由に使える所得を可処分所得というが、その 2000 年と 2019 年とを比較したものが図①である。金額では東部諸省が他省を圧倒している。平均して大きな伸びを示したのは中部諸省である。

可処分所得の一部は貯蓄にまわし、残りを消費する。省レベル都市住民の 2000 年と 2019 年の消費支出を比較したのが図②である。全国平均で 5.5 倍消費額が膨らんでいる。変動幅は地方差が大きく、東部の消費意欲が旺盛である。

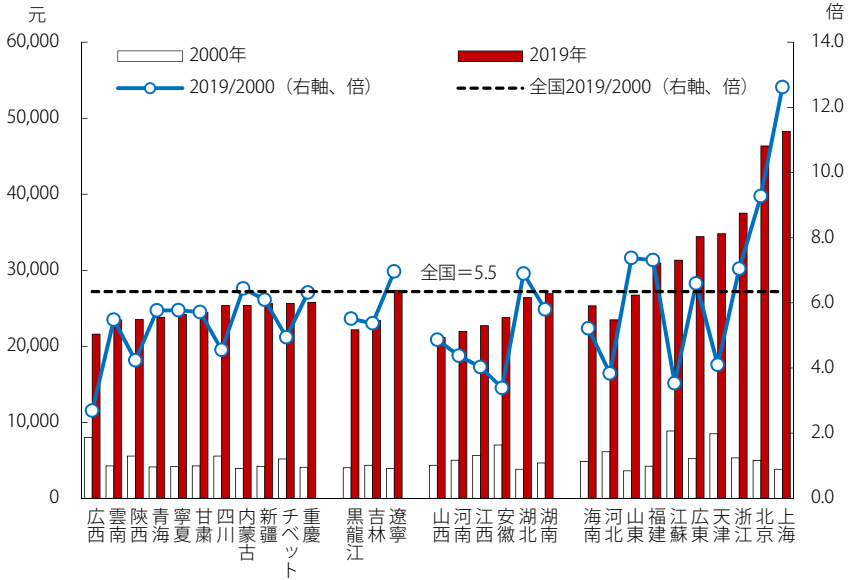
生活の余裕を象徴的に表しているのはエンゲル係数（消費支出に占める食費の割合）の低下である。都市住民の全国平均エンゲル係数は 2000 年 = 39.4、2018 年 = 27.7 であって、10 ポイント以上も減少している。

①省レベルの可処分所得（2000 年と 2019 年との比較）

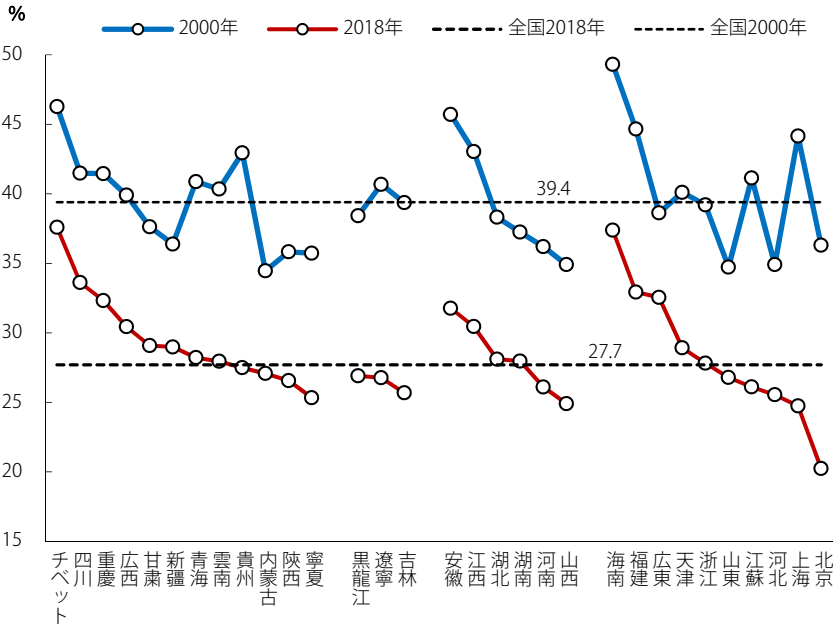


(資料) 『中国統計年鑑』2019年版

②省レベルの消費支出（2000年と2019年との比較）



③省レベルのエンゲル係数（2000年と2018年との比較）

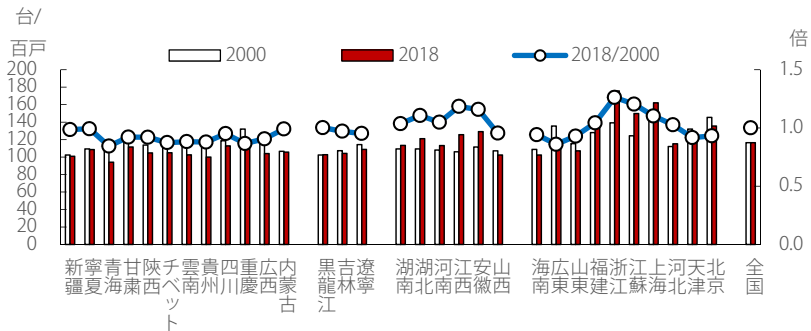


2 - F. 耐久消費財の普及に見る生活革命

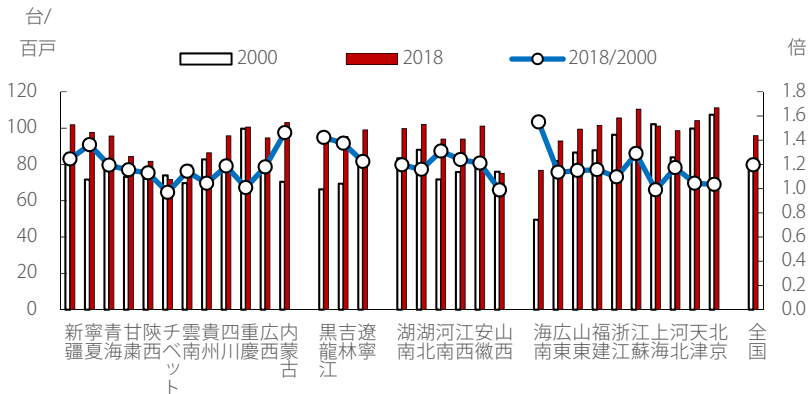
耐久消費財の保有状況は、家庭の生活レベル向上を示すバロメーターである。以下のグラフは、31省市自治区都市家庭の2000年と2018年の5品目の耐久消費財の保有状況を比較したものである。棒グラフが各年の百戸当たり保有数、折れ線グラフは2000年から2018年間の増加倍数である。

カラーテレビや冷蔵庫の普及度は昔と余り変わっておらず、基本的に買い替えが主流である。ところが、携帯電話や自家用車の増加倍率は驚くほど大きい。端的に言う、携帯電話は2000年時点ではほとんど無かったが、2018年には一家に2台以上あるようになった。自家用車は19年前200戸に1台が、10戸に3台保有するようになった。この19年間に、携帯電話と自家用車によって生活革命が起こったのである。この革命は家庭内にとどまらない。携帯は情報・買物革命の、自家用車は交通革命のキーマシンであり、中国人のライフスタイル革命が進行中である。

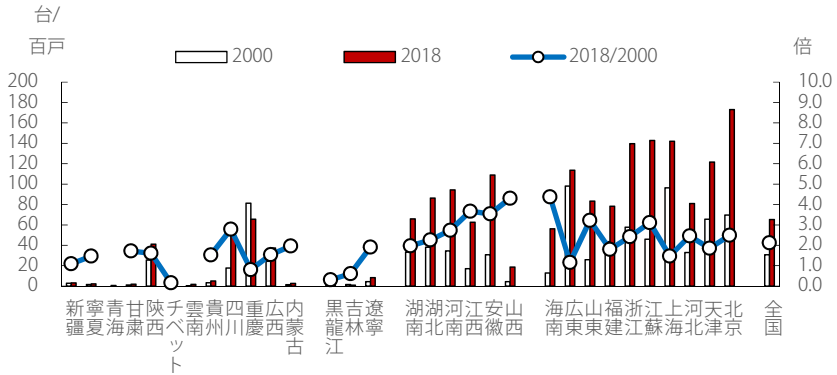
①カラーテレビ



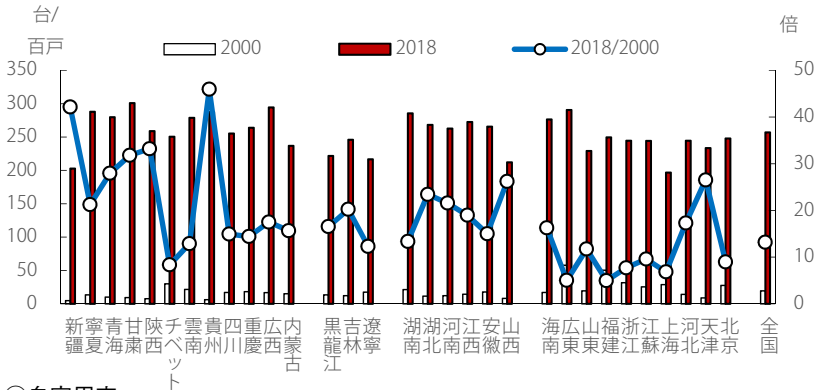
②冷蔵庫



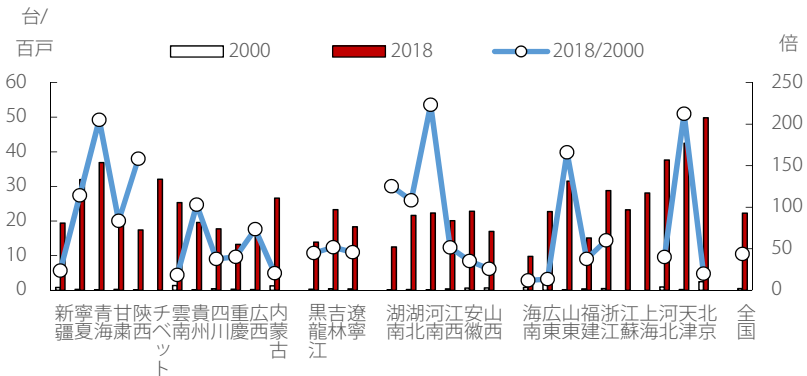
③ エアコン



④ 携帯電話



⑤ 自家用車



(資料) 『中国統計年鑑』2019年版